企業統治とコンプライアンス

〈企業統治の取り組み〉

コーポレートガバナンスと企業情報の発信

当社は、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応して、公正な経営を維持することを主たる目的として、経営システムを運営しています。
また、安定的な株主価値向上に努めることが経営の最重要課題とし、株主の皆様やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーと良好な関係を維持するために、定期的な IR説明会の実施など、情報開示を積極的に実施することによって、コーポレートガバナンスの充実を図っています。

グループ内部統制の確立

業務の適正を確保するため、内部統制基本方針を定め、内部統制システムの整備を図り、必要な都度見直しを行っています。なお、内部統制基本方針については、ホームページにて公開しています。

〈内部統制基本方針（抜粋）〉

①取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
②取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
③損失の危険の管理に関する規程その他の体制
④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
⑤当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
⑥監査役の職務を補助すべき使用人の取締役からの独立性を確保する体制
⑦取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、監査役の監査が実効的に行われることを確保する体制

〈コンプライアンスの取り組み〉

コンプライアンス体制

コンプライアンス担当役員の下、組織横断的なコンプライアンスチームが中心になり、コンプライアンス研修を継続的に行い、コンプライアンス意識の全役職員への浸透を図ることにより、不正と不祥事を未然に防ぐことに努めています。
また、会長を議長とし全取締役をメンバー、全監査役をオブザーバーとする「経営監理委員会」を設置し、コンプライアンスの徹底状況をチェックしています。

コンプライアンス研修

〈コンプライアンス体制に関する主な対応〉

①「井関グループ倫理行動規範」の策定とグループ全員への配布、それに即した研修の継続実施
②定期的な「コンプライアンスニュース」の発行、掲示によるコンプライアンス意識の浸透
③グループ内部通報制度（倫理ホットライン）の設置と運用

〈井関グループ倫理行動規範の基本理念〉

1. 法令を順守する
2. 基本的人権を尊重する
3. 社会的良識を尊重する
4. 情報を適切に開示し、社会的説明責任を果たす
5. 環境保全に努める

公正取引の取り組み状況

社会の公正・公平な発展を目指して、お客様や購買先等のお取引先様との間で、公正な取引に資する以下の取り組みに努めています。

【下請法の順守に対する取り組み】

・下請法に規定する要求事項を順守するため、システムによるけん制や監査によるモニタリング等により、チェックと監視を定着化させています
・下請法に関する直近の勧告事例等を取り入れながら、継続的な教育を行っています

【景品表示法の順守に対する取り組み】

・景品表示法の規定に基づき定められた農機公正競争規約のルールに従い、お客様に誤認を与えず、必要な情報を記載したチラシ・カタログの作成、並びに店頭表示に努めています

人権の尊重と明るい職場を目指して

〈人権の尊重の取り組み〉

井関グループは、2003年に策定した「井関グループ倫理行動規範」の中で、「基本的人権を尊重し、国籍・人種・信条・性別・障害の有無等を理由に差別や嫌がらせを行わない」と定めています。
私たちは、この行動規範に則って、人権の尊重に向けた取り組みを進めています。

差別的扱いの禁止

井関グループは、労働法を順守し、適正な雇用管理に努め、国籍・人種・信条・性別・障害の有無等を理由とした差別的取り扱いをいたしません。

人権の尊重に関する教育

井関グループの全従業員を対象に、「倫理行動規範」を配布し、社会や人との関わりの中で人権を尊重した行動をとるよう教育しています。
また、セクハラやパワハラなど相手の人格を無視した行為を禁じ、日頃から自分の言動に充分注意するように指導しています。

内部通報制度

井関グループの内部通報制度として、「倫理ホットライン」を開設し、井関グループ企業内部の問題を社内で事前に察知し、未然に防止することに努めています。

・通報ルートは、①職制ルート　②人事部ルート　③弁護士宛の社外ルート　があります。
・通報内容は、①法令違反　②人権の尊重等の倫理行動規範　③就業規則等の社内規則違反に関する事項で、相談し易い環境づくりに努めています。

個人情報の保護

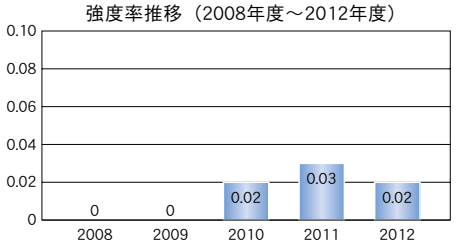
高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、人権尊重の理念を掲げ、プライバシーの尊重と個人情報保護方針の下、適法かつ公正に個人情報の管理・運用を行っています。

〈明るい職場を目指した取り組み〉

労働安全衛生

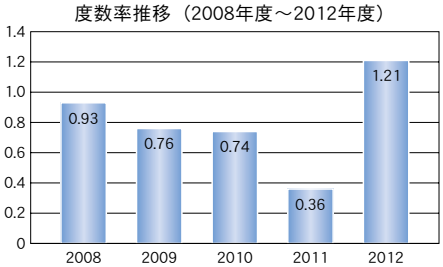
「健康的で安全な職場」を行動規範として掲げ、井関グループ全体で安全衛生管理の徹底を図っています。
労働環境が事業場毎に異なることから、各社各拠点の実態に即した安全衛生活動に取り組んでいます。
特に、製造会社においては、安全衛生パトロールの実施などで現場の意識向上を促進し、「労働災害ゼロ」の継続は勿論のこと、災害リスクの徹底した軽減に努めています。

〈労働災害統計〉
強度率推移（2008年度～2012年度）



＊強度率：1,000労働時間当たりの労働損失日数
＊対象：井関農機と4製造所

〈労働災害統計〉
度数率推移（2008年度～2012年度）



＊度数率：100万労働時間当たりの死傷者数
＊対象：井関農機と4製造所

健康管理

職場環境が従業員の健康に及ぼす影響の大きさを充分に認識し、快適な職場環境づくりに取り組んでいます。
特に、メンタルヘルスについては、定期健康診断時のストレスチェックの実施や、管理職への啓発活動など、予防に努めています。
また、健康増進の取り組みとして「ウォーキング」も推進し、多くの従業員が参加しています。

雇用と人材育成

〈雇用と人材育成の取り組み〉

井関グループでは、変化の激しい事業環境に勝ち残っていくためには、世界の各市場で勝てる商品を開発すると共に、「人材」が重要なポイントであると位置づけています。このため、従業員の意欲と能力を最大限に引き出し、事業の発展に結びつくように、働きがいのある職場づくりに努めています。

人材の採用

井関グループは、社会的使命を果たすために、必要な人材の確保に努め、人物本位、能力本位で採用を行っています。
中でも、最重要課題のひとつである海外売上拡大を推進するため、グローバル展開の加速に対応できる人材の採用に力を入れています。
また、高い能力と貴重な経験を有する人材の中途採用も積極的に取り組んでいます。

人材育成

井関グループの持続的成長には、人材育成が不可欠であり、グループの人的資産を有効活用し、最大限の成果を発揮させるため、様々な能力開発に取り組んでいます。
新入社員教育以降、従業員の能力に応じた階層別研修をグループ全体で実施している他、各社各部門における職種別研修、語学研修、マイスター制度の導入による技術・技能の伝承、自己啓発促進のための通信教育制度など、きめ細かい教育を進めています。
これまで営業力・サービス力の強化を中心とした研修で人材育成してきた中央研修所（茨城県つくばみらい市）に加え、製造現場における人材育成に向けた研修拠点としてヰセキ・テクニカル・トレーニング・センター（ITTC、愛媛県松山市）を2013年秋に開設し、現場力の向上を図っていきます。

ダイバーシティ

事業展開のグローバル化が進み、能力ある人材確保が求められる中、外国人の雇用や女性の管理職登用を進めています。
今後もこうした取り組みを継続すると共に、多様な人材がそれぞれの能力を活かし、最大限の成果を発揮できるよう、キャリア形成をサポートしていきます。
また、障害者の雇用促進に努めると共に、全ての人が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

ワークライフバランス

一人ひとりが、その能力を充分に発揮し、仕事上の責任を果たすと共に、仕事と私生活の両立を通じ、より充実した人生を送ることができるよう、以下のような施策を導入しています。（一部の部門が対象のものを含む）
①勤務地限定職社員の採用
②フレックスタイム制による柔軟な労働時間の設定
③ノー残業デーの実施等を通じた時間外労働の削減
④次世代育成支援対策推進法に基づく、一般事業主行動計画を通じた子育て支援策の実施

マイスター制度

マイスター制度とは、現場の熟練技能者から中堅若手社員への円滑な技能伝承を促す仕組みです。
重要な職種ごとに熟練技能者の中より、マイスター（卓越技能者）を認定し、若手社員の技能向上・指導育成に当たっています。

《マイスター紹介》

井関熊本製造所
プレス機械課
上田（うえだ）　洋介（ようすけ）さん
マイスター職種：プレス

私は、井関熊本製造所でプレス係に所属し、これまで入社以来、プレス一筋で現在に至っています。日々目で見て、音を聞き、の五感を重視して設備保全に努め、安全第一、品質確保に取り組んでいます。
またマイスターの立場としては、経験の少ない若手社員に対して、プロ意識を持つこと、即時の判断力でもって課題への対応ができる等、個人の能力アップに向けた指導に努めています。

お客様の満足を得るために

〈Webサイト「i-NEXT」活用の取り組み〉

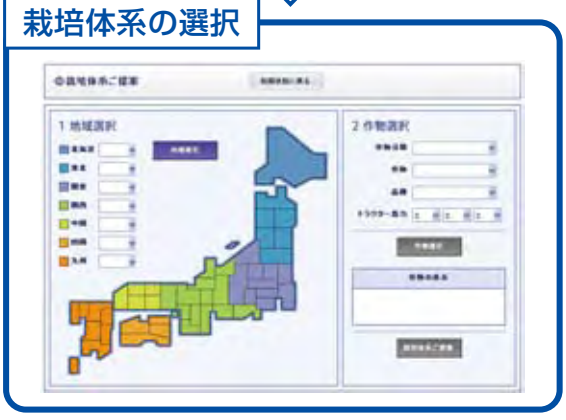
井関農機では、商品・インプルや栽培体系の情報をデジタル化並びにWeb化した販売促進支援サイト (i-NEXT) を井関グループ各社へ配信し、販売会社のセールスマンを経由して、お客様へ以下の最新情報を提供しています。
①水稲の疎植栽培について、各県別の栽培体系と、それに関係する機械の情報
②商品・インプル情報（カタログ・取扱説明書・技術マニュアル・動画・価格表 等）
③自社発行の農業情報誌のバックナンバー、チラシ作成に必要な画像 等のデータ
④栽培体系と商品・インプル情報について、インターネット環境のない圃場や展示会場などでも利用可能

システム全体像

ログイン画面

〈栽培体系ご提案ツール〉
Webサイト「i-NEXT」の中で、「栽培体系ご提案ツール」を作成しています。このツールの大きな特徴は、タブレット端末などを使用し、お客様のお住まいの地域や栽培作物・品種・ご希望のトラクタ馬力等を入力すると、播種から収穫、調製までの一連の栽培体系、作業体系、機械体系が、どこにいても瞬時にわかるというものです。
セールスマンがこのツールを活用して、お客様にぴったりの栽培方法、そして機械や資材を画像や動画でご提案しております。

栽培体系の選択



栽培体系情報

お客様の満足を得るために

井関グループは、お客様に商品を買っていただくことや、サービスを提供することで企業活動をしており、社是に、**「当社は、“需要家には喜ばれる製品を”経営理念とし、もって社会的使命を達成する」**と謳っています。
お客様の満足を得るために、提供する商品やサービスの価値を、お客様の視点で捉え、お客様が求めているもの、満足していただけるもの、をスピーディーに提供していくことを基本としています。
そのことを目指して、井関グループ全員で、安全で品質の優れた商品の提供、及び販売後のお客様へのサービス対応に努めています。

〈お客様の満足度向上の進め方〉

お客様の満足度向上を目指して、以下の考え方にて推進しています。
①後工程は、お客様　　：全ての部門の持ち場で、後工程はお客様、の視点で業務を遂行します。
②商品満足度向上　　：市場調査により、お客様視点に立った商品を開発します。
③サービス満足度向上　：お客様に最適商品・最適情報を提供します。
④一人ひとりの顧客満足：従業員一人ひとりが、常にお客様を思う気持ちを持って、対応します。

〈商品販売後のサービス対応〉

CS推進活動

井関グループでは、毎月CS向上委員会を開催し、全国の販売会社における、お客様への商品納入指導の実績、及び調子伺いの実績をフォロー・チェックして、井関グループのCS推進に努めています。

・ビフォーサービス：納品チェックシートに基づく納入指導の実施
・アフターサービス：新車、整備車に対する調子伺いの実施

社内教育、社外講習

茨城県の技術ソリューションセンター内にある研修施設（中央研修所）では、販売会社のセールスマン・サービスマンや特約店の後継者を対象にして、農業機械の整備等、幅広く講習を実施していますが、今回、営業研修を全面リニューアルしました。

〈リニューアルの狙い〉

①セールスマンは、常にお客様の立場に立ち、考え、行動すること。(お客様本位)
②研修方式を自主参加型とし“気づき”と“発見”を自ら体験すること。
③計画達成が、「セールスマンのやりがい」との考え方を浸透させること。

消費者相談窓口

〈相談窓口のお問合せコーナー〉

ホームページに掲載しております。以下のアドレスにてご覧ください。
http://www.iseki.co.jp/inquiry.html

〈ホームページへメールでの問合せ〉

井関農機ホームページの「お問合せ」コーナーにて、①商品に関するお問合せ、②会社全般に関するお問合せ、等々、お客様からお気軽にいろいろな相談を受けています。
「商品に関するお問合せ」の「メーカーへの技術的なお問合せ」コーナーでは、技術ソリューション部が商品の技術的相談窓口を担当し、商品の担当技術部と共同にて、お客様からのお問合せに対応しています。
2012年度のメールでのお問合せは、約1,000件ありました。全てに対してご回答と対応を実施いたしました。

〈2012年度のメールでのお問合せ実績：約1,000件〉

商　品	問合せ割合
トラクタ	28％
耕うん機・管理機	18％
田植機	15％
コンバイン	12％
その他	27％

〈商品に対する技術的なお問合せに対する電話対応〉

上記、「商品に関するお問合せ」で、「メールでのお問合せ」と併せて、お客様からの直接電話による対応もしていますが、2012年度は約600件ありました。
お客様はもちろんのこと、役所・電力会社・保険会社・食品会社・TV局など様々なところから、色々なお問合せや相談があり、それぞれ担当部署の担当者が丁寧にお応えしています。

〈2012年度の電話でのお問合せ実績：約600件〉

商　品	問合せ割合
トラクタ	27％
耕うん機・管理機	10％
田植機	7％
コンバイン	9％
その他	47％

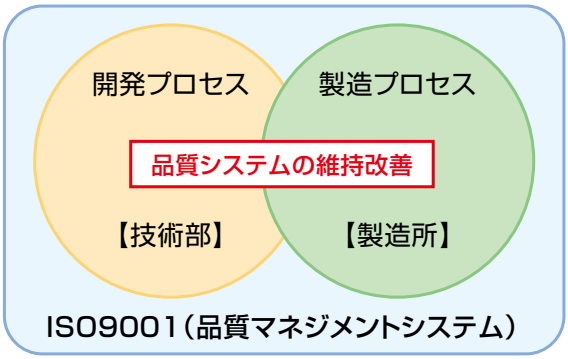
お客様の満足を得るために

〈品質改善の取り組み〉

井関グループは、お客様に喜ばれる商品の提供、そしてお客様の安全を第一とし、商品の安全性を追求した品質改善への取り組みを推進しています。
品質保証の国際規格である「ISO9001」のシステムを活用した品質保証活動を行うとともに、開発プロセスの商品企画の上流から徹底したデザインレビュー（DR※1）を実施しています。
製造プロセスにおいても「ISO9001」のシステムを活用し、製造工程における品質不具合の撲滅を図っています。
また、お客様が使いやすい商品とするために、ユニバーサルデザイン（UD※2）を織込んでいます。

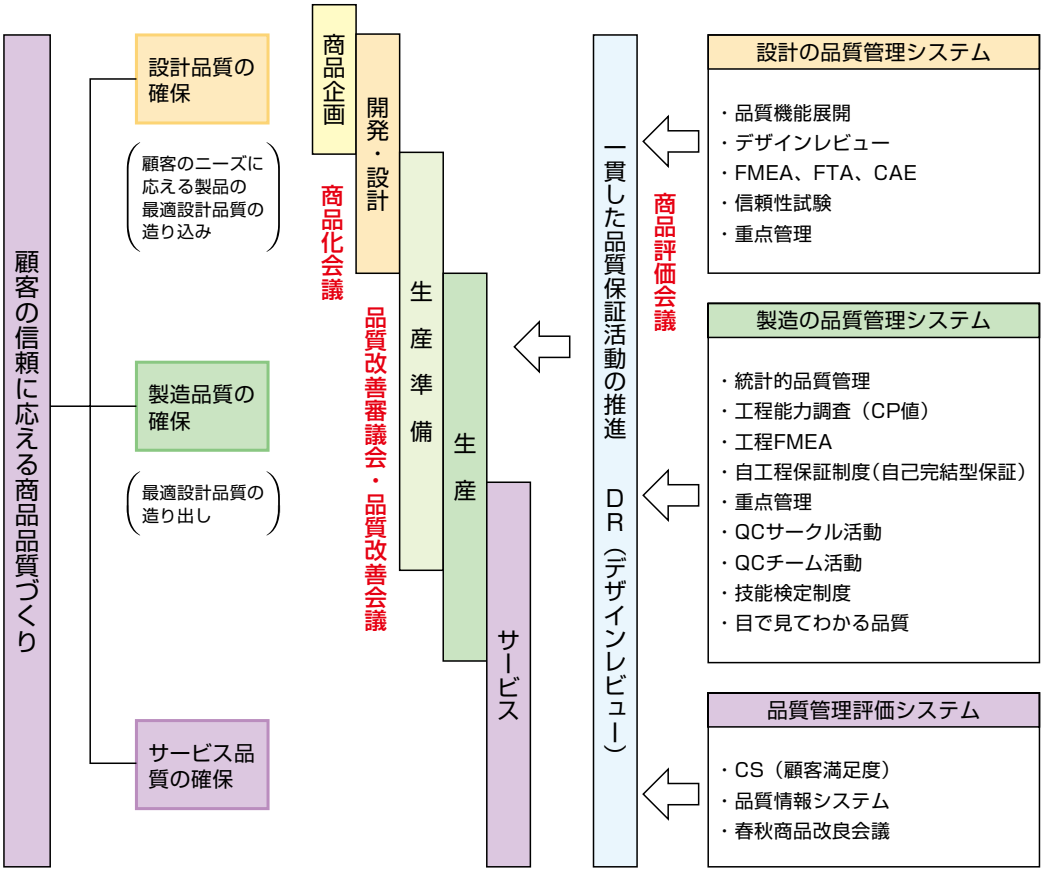
※1　DRとは：設計審査のことで、お客様が要求する商品を実現する設計になっているかを審査すること。
※2　UDとは：全ての人のためのデザインのこと。

1995年11月に井関松山製造所（主にトラクタを生産）で、ISO9001を認証取得して以降、4製造所全てで認証を取得し、品質保証活動を行っています。



〈品質保証活動の取り組み〉

お客様の安全・信頼に応える商品づくりのため、商品の企画から生産、サービスまで一貫した品質保証活動を効果的に運用し、ステップ毎にDRで品質保証の審査を行っています。
また、商品化会議（商品化を決定する機関）では、商品企画の造り込みを行い、品質改善審議会（商品の品質を検証する機関）では、設計、生産の品質の造り込みを行っています。

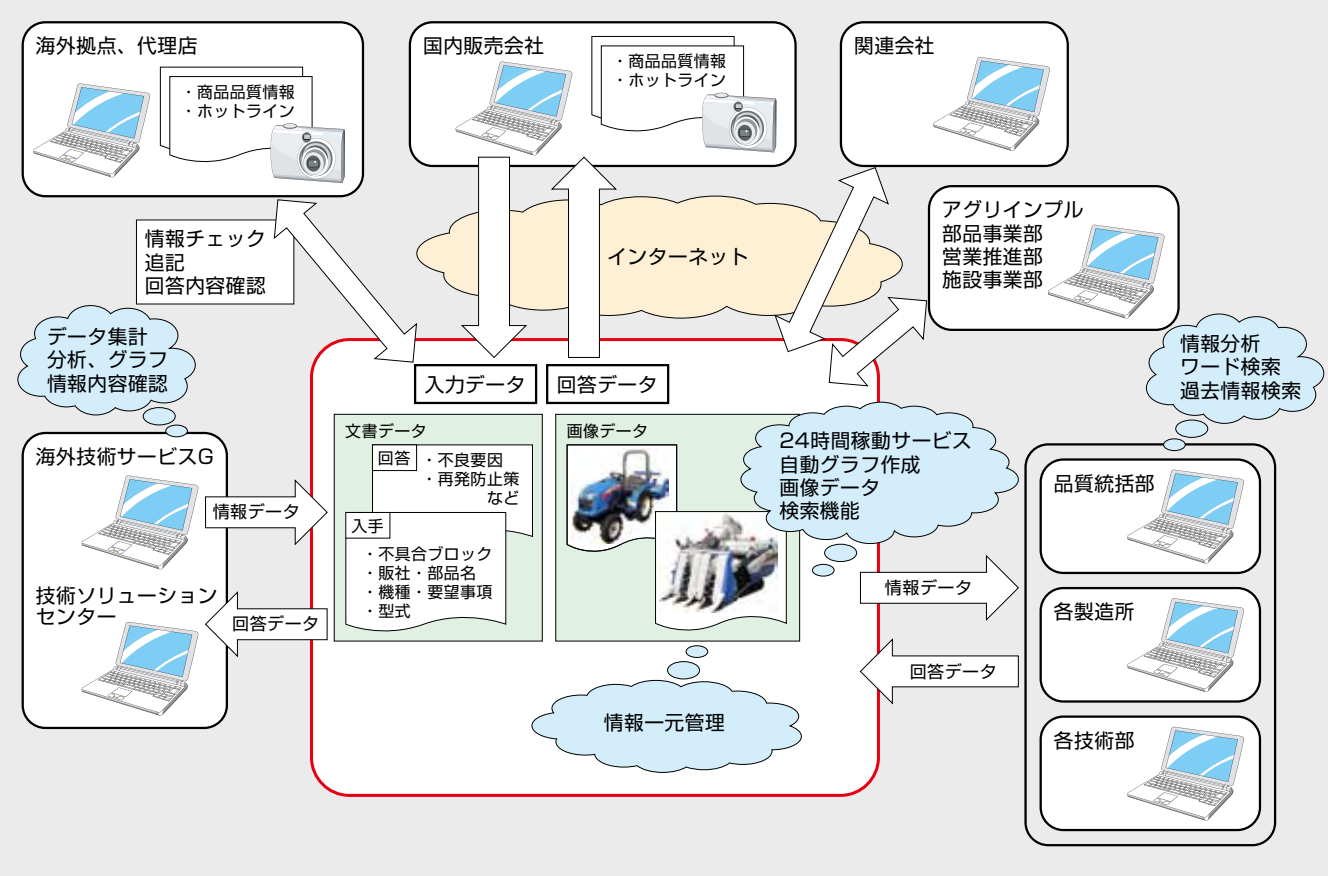


お客様の満足を得るために

〈商品品質情報システム構築の取り組み〉

国内、及び海外のお客様からの商品に関する品質情報への対応の迅速化を図るために、関係部門間での情報の検索・分析機能の共有化を図る新たなシステムを構築、運用しています。
この新たな情報システムは、販売会社から開発製造部門までの関係部門を繋ぎ、以下のことを通じて、商品出荷後の品質について、問題発見→処理→対応、までのスピードアップが図れるようになりました。

①情報範囲拡大、精度向上により、市場問題への迅速かつ的確な対応を図る
②システムのグローバル化を図り、海外市場問題への取り組みを国内と同様に強化する
③商品品質情報と品質補償情報を一元管理し、情報入手と管理の効率化を図る
④蓄積情報の検索・分析機能を強化し、商品品質の改善スピードと精度を上げる



〈リコールへの対応〉

お客様が使用している商品に問題が発生し、改善措置が必要と判断した場合には、お客様の安全を第一に優先し、商品の点検・修理を迅速に実施しています。
また、リコールの実施に当たっては、関係機関(※1)に届出・報告すると共に、井関農機のホームページ上に情報を開示し、お客様への注意喚起・情報提供に努めています。

お知らせ　リコール届出に関するお知らせは、ホームページに掲載しております。以下のアドレスにてご覧ください。

http://www.iseki.co.jp/oshirase.html

〈リコール件数の年度推移(※2)〉

年　度	2008	2009	2010	2011	2012
リコール件数	4	2	6	2	3

※1　国土交通省、農林水産省、経済産業省など
※2　国土交通省へのリコール届出件数

地域社会への貢献

〈東日本大震災から復興への支援〉

2011年3月11日に発生しました「東日本大震災」、及び「原発事故」によって、東北・関東の多くの農家の皆様が被災され、圃場が放射性物質に汚染されました。汚染された圃場を元に戻すために、生研センター、農機学会、農機メーカーの産官学が一体となって、農地の除染技術の開発を行い、現地で適用可能な対策工法を確立する「農地除染対策実証事業」が、福島県内で実施されました。
井関グループは、こうした事業に参加し、汚染された圃場で作業できる機械の開発をTJV85セミクローラタイプのトラクタをベースに試作し実演する等、被災地復興のために、積極的に支援活動に取り組んでいます。

福島県飯舘村での農地除染セミナーへ参加

2012年7月19日、福島県飯舘村で農地除染セミナーが行われ、農機メーカー各社の機械で圃場の除染実演会が行われました。
当社のトラクタは、窓ガラスや、床、天井を鉛の板で覆うことで、放射線の被曝量を50%に抑えることができ、また天井に活性炭とヘパフィルターを設けることで、放射性物質の塵埃から作業者を守ることができます。

TJV85トラクタによる除染作業

〈新規農業参入した企業への栽培サポート〉

神奈川県足柄山の麓で、複写機用消耗品等の再生事業やリサイクル事業を展開されている南開工業(株)様は、新規事業として2009年に「(株)なんかいファーム」を設立し、完全な異業種から新しく農業に参入されました。
井関グループの柳田ヰセキ販売(株)では、なんかいファームの設立当初から農機だけでなく、営農についても積極的に支援してきました。こうした経過により、なんかいファームから「玉ねぎ栽培」についての指導要請があり、当社の「夢ある農業応援プロジェクト推進部」が、玉ねぎ圃場の深耕・明暗渠の施工、土壌改良資材を使った土作りから始まり、収穫までの全ての玉ねぎ栽培をサポートした結果、充分な収穫量を確保することができました。
なんかいファームは、「地域への貢献」をモットーとし、農業で成功すれば地域の活性化につながるとの考えの下、事業の拡大を図っています。当社としても、農業の更なる効率化を目指した低コスト農業を推進・支援し、「夢ある農業」をサポートし続けていきます。

うね立てと同時に除草剤散布

ナウエルナナでの玉ねぎ移植

地域社会への貢献

〈耕作放棄地再生への取り組み〉

耕作放棄地の面積は、この20年間で増加し続け、全国で約40万haと報告されています。耕作放棄地は、特に中山間地に多く、地域内の農業後継者の減少が主要因で発生しているために、地域の過疎化と疲弊を併発しており、日本農業の解決すべき問題の重要なひとつであります。
こうしたことから、耕作放棄地の再生と地域の活性化を目指した取り組みは、政府が推進している食料自給率向上の推進策のひとつとして、全国各地で取り組まれています。井関グループでも、各地の活動に賛同し、積極的に取り組んでおります。

和歌山県の耕作放棄地再生への支援

井関グループは、和歌山県の「企業のふるさと」制度に参画し、和歌山県橋本市の中山間地にある西畑地区の「畑ごんぼ」の復活に向けた支援活動を行っています。
「企業のふるさと」制度とは、農村地域の地産地消の推進や地域の景観保全等を目的とする和歌山県の事業です。
この西畑地区では、江戸時代に、太く香り豊かなごぼう「畑ごんぼ」を特産品として栽培していましたが、栽培は急斜面の赤土畑で、また収穫時の掘り取り作業等が大変な重労働であったため、昭和初期には廃れてしまいました。
近年、過疎が進み、耕作放棄地が増えている西畑地区では、地域活性化のため、80年振りに畑ごんぼを復活させることとなりました。
復活した畑ごんぼは好評でしたが、収穫作業が生産拡大への大きな課題となっていました。そこで、当社は耕作放棄地の再生や、収穫作業の課題解決に向けた機械体系による省力栽培を提案し、畑ごんぼの栽培実証を行い、この実証により技術を確立し、生産拡大・地区の活性化へ繋げていく支援を行っています。

耕作放棄地の変化

山口県の耕作放棄地再生への支援

耕作放棄地からの復田

山口県にある「グリーンコープやまぐち」は、地域再生運動の一環として、安全で安心な農産物を組合員の皆様に提供するために、自らが農産物を生産する事業を立ち上げました。
そのために、県内にある耕作放棄地を有効活用して、水田に復活させ、もち米と大豆栽培に挑戦しています。この耕作放棄地からの復田への支援と栽培技術の提供を井関グループが行っています。
また、「グリーンコープやまぐち」では、新しい事業を収益の柱とするために、耕作放棄地を活用して農産物の試験栽培を実施しております。試験栽培の目的は、耕作放棄地からの土作りのやり方の習得、生産者の栽培技術の向上と自ら生産した安全で安心な農産物を組合員の皆様に提供するためです。井関グループでは、農業機械を活用し耕作放棄地の再生と稲作の疎植栽培や[注)]大豆300A技術を指導しています。

注)「**大豆300A技術**」とは、単位面積当たりの収穫量（単収）が不安定となる要因の湿害を回避する耕起・播種技術です。
また、「300A」の「300」は、10アール当たりの収穫量が300kg。「A」は、品質Aクラス(1、2等級)を意味し、高品質・多収穫を目標として表現しています。

地域社会への貢献

〈阿蘇くまもと空港地域おこしへの支援〉

2012年度より、阿蘇くまもと空港地域おこしプロジェクトが発足し、地域活性を目的とした取り組みが始まりました。井関グループの（株）ヰセキ九州は、この取り組みに協賛し、プロジェクトの第一弾として、阿蘇くまもと空港地域おこし協議会と協力して、空港東に「ひまわり」と「コスモス」のお花畑を作りました。同社は、畑の草刈り・耕うん・種まき等の作業を担当しました。
8月下旬には、ひまわりが満開を迎え、10月上旬にはコスモスも見ごろとなり、多くのお客様に楽しんでいただきました。地域に根ざす企業として、プロジェクトの活動を支援しています。

〈阿蘇くまもと空港地域おこし協議会とは〉
阿蘇くまもと空港近隣の農地を「ひまわり」等の景観植物で埋めることで、熊本県の観光資源とし、地域並びに地域外との交流を促進することにより、地域活性化を図ることを目的として、農業者及び趣旨に賛同した個人及び法人をもって結成されました。

ひまわり畑

〈新潟の「ふれあい祭り」への支援〉

地域住民との「ふれあい祭り」

井関新潟製造所では、製造所の所在地である新潟県三条市西大崎3丁目の自治会が毎年主催している地区内クリーン作戦に参加しています。
清掃作業終了後には、当社駐車場において、地区の住民を対象にした「ふれあい祭り」を開催し、地域住民の皆様との交流を図っています。

●開催日：2012年8月25日
●参加者：約250名

〈愛媛県児童生徒発明工夫展への支援〉

2012年10月26日、愛媛県庁第一別館において、第71回愛媛県児童生徒発明工夫展表彰式が開催されました。本年も、小･中学校の児童生徒から多くの応募があり、井関賞を含む特賞5点、優秀賞10点、努力賞20点の計35点の作品が受賞されました。
当社は、この工夫展の審査に毎年参加し、井関賞を授与し、児童らの発明意欲の醸成を支援しています。本年の井関賞は、小学校5年生による「米とぎじょうろ」が選ばれ、賞状とトロフィーを授与しました。
この作品は、じょうろの中にざるを入れて米をとぐことができ、といだ後はざるを外してふたをし、とぎ水をそのまま花の水やりに使用することができ、水の有効活用ができる環境にやさしい作品となっています。

井関賞作品「米とぎじょうろ」